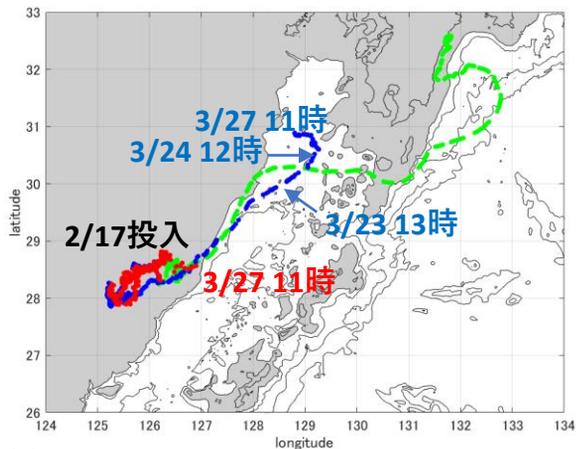


漂流ブイ観測速報(17)

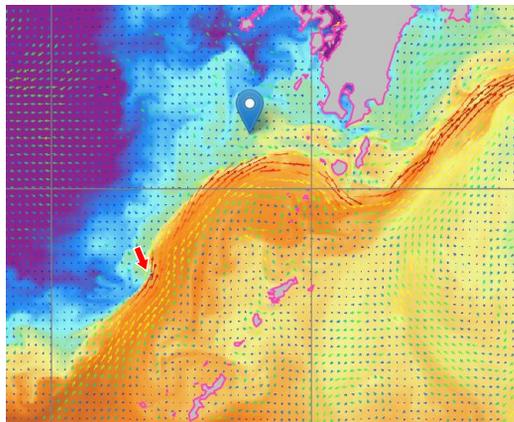
鹿児島大学水産学部水圏科学分野

2023年3月27日



漂流経路図:

3個のペットボトル型ブイの漂流軌跡(3月27日11時現在).
注意:漂流ブイが人工衛星を捕捉できない時間帯があるので軌跡は途切れ途切れになる。



ひまわりモニタ海中天気予報の海面水温画像(3月27日11時):

図中のマークは27日現在の青色●の漂流ブイの位置を示す。赤矢印は赤色●のブイの位置を示す。その他の矢印は海面の流速と流向を示す。

提供:海洋研究開発機構・宇宙航空研究開発機構

データ表:ブイ投入から3/27 11時までのブイの位置情報.時刻(世界時)、経度、緯度.

ID:227198 (●)		
日本時間3月27日11時更新		
世界時(日本時+9時間)	経度(度)	緯度(度)
2023/2/17 2:11	126.48	28.46
2023/3/7 2:53	125.66	27.97
2023/3/20 0:04	125.77	28.44
2023/3/23 3:00	126.34	28.75
2023/3/24 2:48	126.26	28.81
2023/3/25 2:38	126.25	28.74
2023/3/27 2:14	126.90	28.57

鹿大水産学部練習船「かごしま丸」により、2月17日、海上を漂流中の3個の流れ藻にペットボトル型ブイを取り付けて、その漂流経路を人工衛星ARGOSシステムで追跡しています。

解説:現在、1個のブイ(青色)が、奄美大島西方で黒潮縁辺の強流帯に取り込まれ、トカラ海峡へ向けて移動しています。このブイは、3/24にトカラ海峡西方の黒潮流路の峯に達したところで、黒潮前線上の低気圧性渦(反時計回り)に巻き込まれ停滞している模様です(左下図参照)。この渦は小規模であることを考えると、青色ブイは黒潮から大きく離れることはなく、今後も屋久島西方の水温前線付近(左下図参照)を漂流すると予想されます(流れ藻集団の規模は不明)。

これまで奄美大島西方の大陸棚縁辺で滞留していた赤色ブイが、ようやく黒潮に取り込まれ、下流へ移動を開始しました。今後、赤色ブイは、1週間程度で屋久島西方海域に近づくと予想されます。

青色ブイについては、海況予報モデル(DREAMS_E)による38時間先の漂流予報は行いません。

ID:227201 (●)		
日本時間3月27日11時更新		
世界時(日本時+9時間)	経度(度)	緯度(度)
2023/2/17 1:31	126.16	28.33
2023/3/7 2:52	125.29	27.98
2023/3/20 0:06	126.79	28.52
2023/3/23 3:06	128.44	29.93
2023/3/24 2:56	129.19	30.52
2023/3/25 2:38	129.13	30.71
2023/3/27 2:10	128.80	30.88

ID:227202 (●)		
日本時間3月27日11時更新		
世界時(日本時+9時間)	経度(度)	緯度(度)
2023/2/17 8:07	126.18	28.24
2023/3/2 2:56	127.29	28.86
2023/3/7 2:58	130.05	30.24
2023/3/20 0:03	131.80	32.53
2023/3/23 3:00	131.73	32.48
2023/3/24 7:29	131.72	32.49
2023/3/25 2:34	131.72	32.49
2023/3/27 2:10	131.72	32.48